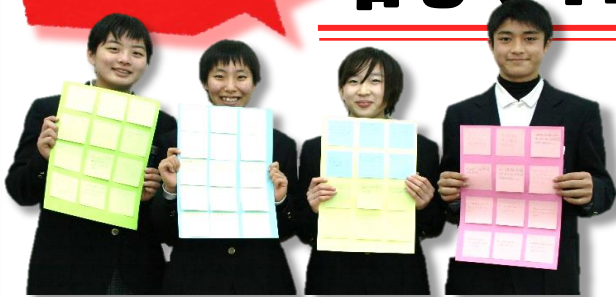


中学生の  
視点

# 認知症の方への接し方

【大切な7つのポイント】



昨年度、認知症サポーター養成講座を受講した岡垣中学校の2年生。今年はさらに学びを深め、『自分たちが学んだことを地域に発信しよう！』という想いのもと“テキストにある接し方の7つのポイントを自分たちの言葉に置き換える”ことで、子どもから大人までわかりやすく伝えるためのワークショップを行いました。相手の立場に立って真剣に考えた5クラス164名の想いが詰まっています。

学び

認知症サポーター  
養成講座

気づき

難しい言葉を変える  
と伝えやすい

動き

小学生でもわかる  
表現でまとめよう！

テキストの言葉

中学生が考えた言葉

まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、驚かせないように少し遠くから話しかけよう。しっかりと相手の気持ちを考えよう。

余裕をもって  
対応する

相手にとまどいやあせりが伝わらないように、笑顔でゆっくり安心できる行動をとろう。

声をかける時は  
1人で

まずは、1人であいさつを試みよう。優しく声をかけ、不安にさせないようにしよう。

後ろから  
声をかけない

急に話しかけると、相手が驚いてしまうこともある。声をかける時は、相手の目線に入り、優しく対応しよう。

相手に目線を合わせて  
やさしい口調で

相手と同じ目線で話そう。まずは、相手にしっかり伝わるように分かりやすい言葉で話そう。

おだやかに、かつぜつ  
はっきりした滑舌で

高齢になると耳が聞こえにくい方が多いので、大きな声で話そう。笑顔で、相手の立場に立って対応しよう。

相手の言葉に  
耳を傾けて  
ゆっくり対応する

耳を傾けることで、相手の気持ちが分かりやすくなる。謙虚な素直な気持ちで、楽しくコミュニケーションを取ろう。

※テキスト「認知症を学び地域で支えよう」 事務局：全国キャラバン・メイト連絡協議会



岡垣中学校のみなさんが  
まとめた言葉は、今後  
小学校で行う福祉の  
授業で活用します！



社会福祉協議会は  
未来を担う子どもたちが  
地域の一員として  
共に生きるための学びを  
応援します。

◀ 社会福祉法人 岡垣町社会福祉協議会 (2018.2) ▶